



豊田市近代の産業とくらし発見館

豊田市近代の産業とくらし発見館は、今年の11月1日をもって5周年を迎える。発見館は近代産業と市街地の変遷やくらしの紹介を通じて、豊田市域の特色を発見する場、人や情報などの交流の場、市内に点在する近代化遺産の保存と活用を図る場として、館の運営を行ってきた。

現在の建物は、大正10年（1921）、鉄筋コンクリート工法により愛知県蚕業取締所第九支所として建設された。蚕種検査や蚕の品種改良に関する研究などを行う蚕業取締所として利用されたこの建物は、豊田市域が蚕業で栄えていた頃を偲ぶことができる、数少ない遺産の一つである。また、コの字形の平面形や広い水平方向の窓などに西洋建築的装いを示す一方、屋根や各柱の頭部には伝統的な和風建築を意識した意匠が施されているなど建築面においても高い価値を持ち、平成12年（2000）には国の登録有形文化財に登録された。

今後も、一人でも多くの人たちが発見館まで足を運んでくれるよう、魅力的な展示・講座を行っていきたい。

目 次

●愛知県博物館協会平成22年度総会のご報告	2
●平成22年度東海地区博物館連絡協議会・日本博物館協会東海支部理事会・総会のご報告	5
●愛知県博物館等職員研修会	5
●表紙館のご紹介	6

愛知県博物館協会

平成 22 年度総会のご報告

愛知県博物館協会の平成 22 年度総会が 6 月 29 日(火)、愛知芸術文化センターにおいて開催された。参加数は 46 館 72 名。当日の総会概要は以下のとおりである。

1. 開 会

2. 会長あいさつ

愛知県美術館 館長 牧野研一郎

3. 協会表彰

梶山 勝 氏(功労賞)

名古屋市博物館 学芸員

田中 青樹 氏(功労賞)

名古屋市博物館 学芸課長

森藤 繁雄 氏(功労賞)

名古屋海洋博物館

・南極観測船ふじ理事兼館長

岩田 正人 氏(功労賞)

岩田洗心館 館長



(表彰状贈呈)

4. 新規加盟館紹介

豊田市近代の産業とくらし発見館

5. 議 事

議長 牧野研一郎(会長)

①平成 21 年度事業報告及び決算報告について

1 研修会の実施

(1) 愛知県博物館等職員研修会(参加者 80 名)

期日:平成 21 年 10 月 22 日(木)

会場:岡崎市図書館交流プラザ りぶら

基調講演会:講師 北川フラム 氏

「アートによる地域活性化

―大地の芸術祭他を事例に一―

事例発表

発表 1

金沢 21 世紀美術館学芸員 黒澤浩美 氏

「作り手の顔が見えるプロジェクトに

:金沢アートプラットホーム 2008」

発表 2

愛西市教育委員会学芸員 石田泰弘 氏

「地域との連携:あいさいの御嶽祭展」

(2) 部門別研修会

ア 教育・普及部門(参加者 41 名)

期日:平成 22 年 2 月 5 日(金)

会場:愛知芸術文化センター

テーマ:「ワークシートの作成・活用術」

イ 調査・研究部門(参加者 31 名)

期日:平成 22 年 2 月 18 日(木)

会場:愛知芸術文化センター

テーマ:「事業としての調査研究」

ウ 保存・修復部門(参加者 28 名)

期日:平成 22 年 3 月 6 日(土)

会場:愛西市佐織公民館

テーマ:「地域資料の保存・活用」

2 平成 21 年度東海地区博物館連絡協議会及び

日本博物館協会東海支部総会の開催

期日:平成 21 年 7 月 24 日(金)

会場:山梨県立博物館

参加者:46 名(うち愛知県博物館協会

参加者 7 名)

講演会:講師 甲斐黄金村・湯之奥金山

博物館長 谷口一夫 氏

「甲斐金山と鉱山技術

甲斐金山研究の最前線」

3 第 34 回東海三県博物館協会

交流研修会の開催

期日:平成 21 年 11 月 19 日(木)

会場:岐阜県美術館

テーマ:「環境と人にやさしい博物館

～文化財の保存と博物館の環境」

参加者:68 名(うち愛知県博物館協会

参加者 19 名)

4 印刷物の作成・配布

・協会報「愛知の博物館」 2 回発行 No.90・91

・「おでかけガイド」 2 回発行 秋・春

・「加盟館職員録」の発行

5 ホームページの運営、リニューアル

6 会議等

- (1) 総会 1 回開催
- (2) 理事会 1 回開催
- (3) 実行委員会 9 回開催
- 7 平成 21 年度退会館 3 館
- 8 平成 21 年度決算報告
総会資料に基づき愛博協事務局より説明、
異議なく承認された。

②平成 22 年度事業計画案および予算案について

1 事業

- (1) 愛知県博物館職員研修会
(担当 愛知県美術館他)
文化財保存修復学会と共催で行う。
期日：平成 22 年 6 月 11 日(金)
会場：長良川国際会議場 5 階国際会議室
- (2) 総会記念講演会
期日：平成 22 年 6 月 29 日(火)
講師：滋賀県立琵琶湖博物館
環境学習センター所長
布谷 知夫 氏
テーマ：「博物館・美術館の現代的
役割と相互連携」



(総会記念講演会講師 布谷知夫氏)

(3) 部門別研修会

昨年度同様、ワーキンググループを設けて企画・実施する。

調査・研究部門

平成 23 年 2 月～3 月予定

教育・普及部門

平成 23 年 2 月～3 月予定

保存・修復部門

平成 23 年 2 月～3 月予定

- (4) 東海地区博物館連絡協議会
平成 22 年度総会
(当番 神奈川県博物館協会)
期日：平成 22 年 7 月 16 日(金)
会場：横浜情報文化センター
- (5) 第 34 回東海三県博物館協会交流研修会
(当番 三重県博物館協会)
期日：平成 22 年 秋
会場：未定

(6) 表彰

愛知県博物館協会表彰規程に基づき、
表彰を行う。

(7) 印刷物の編集・発行

- ・協会報「愛知の博物館」 2 回発行
(担当 岡崎市美術博物館
・でんきの科学館)
- ・「おでかけガイド」 2 回発行
(担当 一宮市三岸節子記念美術館
・熱田神宮宝物館)

(8) ホームページ運営

- (担当 愛知県美術館
・あま市美和歴史民俗資料館)

(9) 愛知県博物館協会

今後のあり方について見直しを検討
実行委員会内に検討会を設ける。

- (担当 愛知県美術館・愛知県陶磁資料館・
名古屋市博物館・名古屋市科学館・トヨタ
博物館・熱田神宮宝物館・INAX ライブ
ミュージアム・岡崎市美術博物館・新城市
鳳来寺山自然科学博物館)

2 会議

- (1) 総会 平成 22 年 6 月 29 日(火)
愛知芸術文化センター
- (2) 理事会 平成 22 年 6 月 29 日(火)
愛知芸術文化センター

(3) 実行委員会 随時

3 平成 22 年度予算案

事業計画案に基づく予算案を愛博協事務局
より提示、異議なく承認された。

役員、実行委員の一部の方々が下記のとおり交替いたしました。
引き続き会員各位のご協力のほど、よろしくお願いします。

平成 22 年度 愛知県博物館協会役員

役職名	館（園）名	代表者名	備 考
理 事	愛 知 県 美 術 館	館 長 牧 野 研一郎	会 長
〃	ト ヨ タ 博 物 館	館 長 川 本 常 敬	副会長
〃	愛 知 県 陶 磁 資 料 館	館 長 木 村 忠 史	
〃	熱 田 神 宮 宝 物 館	館 長 宮 田 理 博	
〃	あま市美和歴史民俗資料館	館 長 伊 藤 義 久	2010.4.1 ～
〃	一宮市三岸節子記念美術館	館 長 土 本 典 生	2010.4.1 ～
〃	INAX ライブミュージアム	館 長 辻 孝二郎	2010.4.1 ～
〃	岡 崎 市 美 術 博 物 館	館 長 芳 賀 徹	
〃	昭 和 美 術 館	館 長 柳 澤 幸 輝	
〃	新城市鳳来寺山 自然科学博物館	館 長 加 藤 貞 亨	
〃	で ん き の 科 学 館	館 長 小 島 剛	
〃	豊 田 市 郷 土 資 料 館	館 長 伊 藤 達 也	
〃	豊 橋 市 自 然 史 博 物 館	館 長 松 岡 敬 二	2010.4.1 ～
〃	名 古 屋 市 博 物 館	館 長 岡 田 大	
〃	博 物 館 明 治 村	館 長 鈴 木 博 之	2010.4.1 ～
監 事	徳 川 美 術 館	館 長 徳 川 義 崇	
〃	名 古 屋 市 科 学 館	館 長 石 丸 典 生	

平成 22 年度 愛知県博物館協会実行委員

館（園）名	委員氏名	備 考
愛 知 県 美 術 館	森 美 樹	(会長館)
ト ヨ タ 博 物 館	藤 井 麻 希	(副会長館)
愛 知 県 陶 磁 資 料 館	佐 藤 一 信	(理事館)
熱 田 神 宮 宝 物 館	奥 山 哲 也	(〃)
あま市美和歴史民俗資料館	近 藤 博	(〃) 2010.4.1 ～
一宮市三岸節子記念美術館	杉 山 章 子	(〃) 2010.4.1 ～
INAX ライブミュージアム	竹 多 格	(〃) 2010.4.1 ～
岡 崎 市 美 術 博 物 館	千 葉 真智子	(〃)
昭 和 美 術 館	澤 田 亜希子	(〃)
新城市鳳来寺山 自然科学博物館	加 藤 貞 亨	(〃)
で ん き の 科 学 館	中 本 昌 子	(〃)
豊 田 市 郷 土 資 料 館	高 橋 健太郎	(〃) 2010.4.1 ～
豊 橋 市 自 然 史 博 物 館	安 井 謙 介	(〃) 2010.4.1 ～
名 古 屋 市 博 物 館	藤 井 康 隆	(〃) 2010.4.1 ～
博 物 館 明 治 村	中 野 裕 子	(〃)
徳 川 美 術 館	志 賀 太 郎	(監事館)
名 古 屋 市 科 学 館	鈴 木 雅 夫	(〃) 2010.4.1 ～

平成 22 年度 愛知県博物館協会事務局

事 務 局 長	村 田 眞 宏	愛知県美術美術館 副館長
事 務 局	大 羽 市 郎	〃 課長補佐
〃	高 木 久 子	〃 主事
〃	深 山 孝 彰	〃 主任学芸員
〃	馬 淵 美 帆	〃 主任

平成 22 年度東海地区博物館連絡協議会・日本博物館協会東海支部理事会・総会のご報告

理事会の概要

- 日 時 平成 22 年 7 月 16 日(金) 11 時 00 分～12 時 00 分
会 場 横浜情報文化センター 大会議室
出席者 日本博物館協会 1 名 理事 10 名 監事 2 名 事務局 7 名 計 20 名
・ 挨拶 東海地区博物館連絡協議会会長 西 川 杏太郎
日本博物館協会専務理事 河 上 恭 雄
・ 議 題 1 平成 22 年度理事及び監事の選任について
2 平成 21 年度事業報告及び決算報告について
3 平成 22 年度事業計画及び予算案について
4 平成 22 年度表彰について 平成 22 年度は該当なし
5 平成 23 年度開催県について 開催順により「岐阜県」として了承
6 その他

総会の概要

- 日 時 平成 22 年 7 月 16 日(金) 13 時 30 分～14 時 30 分
会 場 横浜情報文化センター 情文ホール
出席者 来賓 3 名 岐阜県 7 名 静岡県 5 名 愛知県 5 名 山梨県 1 名
神奈川県 29 名 計 50 名
・ 挨拶 東海地区博物館連絡協議会会長 西 川 杏太郎
来賓祝辞 日本博物館協会専務理事 河 上 恭 雄
神奈川県教育長 代理 神奈川県教育委員会教育局生涯学習部長
木 島 俊 夫
・ 議 題 1 平成 22 年度理事及び監事の選任について
2 平成 21 年度事業報告及び決算報告について
3 平成 22 年度事業計画及び予算案について
4 平成 23 年度開催県について 開催順により「岐阜県」として了承
5 その他 日本博物館協会の主要事業等について(日本博物館協会)
・ 講演会(14 時 45 分～15 時 45 分)
演 題 「横浜開港 150 周年事業をふりかえる」
講 師 横浜開港資料館 館長 高 村 直 助 氏
・ 観 覧(15 時 50 分～16 時 50 分) 日本新聞博物館
・ 懇親会(18 時 00 分～19 時 30 分) 中華街 中華飯店 「菜香 新館」

愛知県博物館等職員研修会

平成 22 年度愛知県博物館協会職員研修会は、東海地方初となる文化財保存修復学会の大会にあわせ、愛知、三重、岐阜の三県の博物館協会との共催で、平成 22 年 6 月 11 日(金)、長良川国際会議場にて開催された。参加者人数は全 127 人、内訳は愛知県博物館協会 33 人、岐阜県博物館協会 24 人、三重県博物館協会 9 人、学会関係者他 61 人であった。

ミュージアムで資料や文化財に関わる人たちがその保存・修復についてお互いの状況を理解しあい、相互に協力していくことを目指し、「ミュージアムと保存～身近なことから、ところから～」をテーマにしたこの研修会では、当日右記の発表が行われた。

- ・ 基調講演
「ミュージアムと保存 明治村の取り組み」
(西尾雅敏氏／博物館明治村)
- ・ アンケート集計結果報告
(井口智子氏／名古屋ボストン美術館)
- ・ 事例報告
①「身近なものが博物館保存に」
(田村哲氏／愛知県陶磁資料館)
②「NPO 法人やボランティア活動等、館外の協力者」(長屋菜津子氏／愛知県美術館)
③「アメリカの大きな美術館・日本の小さな美術館」
(井口智子氏／名古屋ボストン美術館)
- ・ ディスカッション
(司会進行：田中善明氏／三重県立美術館、
パネリスト：村上隆氏／京都国立近代美術館
・ 井口智子氏・田村哲氏・長屋菜津子氏)

西尾氏の基調講演では、建築物自体が文化財である明治村において、移築時の問題や保存がうまくいかなかった事例を挙げながら、その時どのように検討し、何が問題であったかということや、またその経験から得たことが語られた。問題に突き当たるたびに、その状況に応じて判断を下し、作品や資料の保存・修復の方針を定めていかなければならない現場の職員にとって有意義な内容であった。



(アンケート集計結果報告)

今回の研修にあたり、事前に東海 3 県の博物館協会加盟館に対し、保存業務に関するアンケートが実施された。このアンケートを通して、加盟館の大半の学芸員は館の保存環境が整っていないと認識しているものの、設備の老朽化や予算・人手不足など様々な理由によって、問題解決の糸口が見出せずにいるという現状が明らかになった。

事例報告では、保存専門の学芸員による業務のなかから、専門スタッフがいないくても、また経費をかけなくとも行うことができる事例が報告された。愛知県陶磁資料館の田村氏は、展示

室の虫採り方法やそのための監視スタッフとの連携について説明された。愛知県美術館の長屋氏からは、作品の保存修復ため NPO 法人の協力や友の会のボランティアの支援をどのように得たかという事例が報告された。さらに、名古屋ボストン美術館の井口氏の発表では、アメリカのボストン美術館の日本分館ともいえる特異な位置づけの館において、展示時に生じた作品の保存上の問題を、アメリカの保存担当学芸員と連携しながら解決した事例が取り上げられた。これら 3 館の事例報告にはどれも、作品・資料の保存管理において起こる様々な問題を解決するための具体的な提案が多く含まれていた。

最後のディスカッションでは、事例報告とアンケートの集計結果に基づき、議論が進められた。学会関係者や研究者の参加も多かった今回の研修会では、地方博物館の現場の職員と学会との意識の差が改めて認識された点でも成果があった。今後両者が相互に協力できる体制が生まれれば、われわれ地方の博物館にとっては有益であると期待される。



(ディスカッションの様子)

表紙館のご紹介

■豊田市近代の産業とくらし発見館

【開館時間】

9:00～17:00

【休館日】

月曜日（祝日は開館）、
年末年始（12/28～1/4）

【入館料】

無料

【所在地】

〒471-0027
愛知県豊田市喜多町4丁目45番地
TEL 0565-33-0301
FAX 0565-33-0319
E-mail: hakken@city.toyota.aichi.jp
URL: <http://www.toyota-hakken.com/>

【駐車場】

15台（その他 市営児ノ口駐車場等利用可）

【交通手段】

- ・名鉄豊田市駅より東へ徒歩5分
駅前通り（県道豊田市停車場線）を東へ
約360m・名古屋銀行東側の角を左折約70m
- ・愛環新豊田駅より東へ徒歩約8分
- ・東名豊田 I.C. より車で15分
- ・伊勢湾岸豊田東 I.C. より車で約15分
- ・東海環状豊田勘八 I.C.・豊田松平 I.C. より
車で約15分

「愛知の博物館」 No.92

発行日 平成22年8月31日
編集・発行 愛知県博物館協会

〒461-8525
名古屋市中区東桜1-13-2 愛知県美術館内
TEL(052)971-5511 FAX(052)971-5604